



消防学校 ニュース

平成30年5月1日発行



台湾 新北市からお客さまが来校！

4月22日(日)、富士山静岡空港に到着した台湾の新北市政府消防局消防科員、廖裕宏(りょう ゆこう)さんは、翌23日(月)、本県との交流事業として、県庁危機管理部を表敬訪問、その後、危機管理センター、静岡市消防局港北消防署を視察し、昼食後、本校にいらっしゃいました。

廖さんには通訳として静岡市消防局の齋藤弘美さんがボランティアで同行してくれましたので、質疑応答や意見交換などをスムーズに行うことができました。



記念品を交換する廖さんと澤野学校長

校内では初任科第89期の初任科生たちが訓練を行っていましたので、その訓練の様子と併せて本校の訓練施設等を御案内しました。

廖さんは、初任科生たちが機器取扱訓練として行っていた基本結索に強い関心を示し、訓練の様子を熱心に動画撮影していました。

また、ホットトレーニングのための濃煙熱気消火訓練施設(コンテナ)も非常に熱心に見学し、当該訓練で焼けただれ、無残な姿になった拡声器にも興味を持ち、何枚も写真に収めていました。



謝謝、再見

本年11月には緊急消防援助隊の中部地域ブロック合同訓練が本県で開催され、台湾から多くの皆さん(廖さんを含む)が視察のため来静し、本校にも寄られると聞いています。

その機会も生かし、わが消防学校では、本年度、台湾政府内政部消防訓練センターを中心に、台湾消防との交流事業を本格化させていこうと考えています。



初任科生の基本結索の訓練を見学する



ホットトレーニング用コンテナの中で本校教官と話をする

One Chot 台湾 新北市

ワンチョット(チョイネタ)コーナー

(「ウィキペディア(Wikipedia)」のデータを引用)

新北市は、台湾北部に位置する、台湾最大の行政区です。

中華民国の首都である台北市の衛星都市で、もともとは台湾省の県である台北県であったため、市域は台北市と台北市の外港である基隆市の近郊を取り囲む形になっています。

2010年12月25日、「準直轄市」から「直轄市」に昇格し、新北市(新しい台北市の略)と改称しました。総人口は397万人余(2016年1月)です。

静岡県とは2014年2月17日に『防災に関する相互応援協定』を締結しています。因みに、静岡県は現在、台湾地方政府7市1県と協定締結を行っています。



初任科第89期

実科訓練だけじゃない!

座学もある!!

「消防」のイメージは“技術、体力、精神力”!?

確かに本校の校訓に「技術の練磨」「体力気力の練成」とありますし、この消防学校ニュースでも実科訓練の様子をお届けする機会が多いです。しかし、それだけでは消防の職責は果たせません。

初任科生たちは、知識、知力をつけるために勉強の毎日です。学ぶこと、覚えることは山ほどあります。

これからは毎週のように効果測定が行われます。決してめげずに、頑張ってください! (赤点取るなよ…)



ここでは、「消防法」の座学の様子を御紹介します。「消防法」はまさに消防の基盤となる法律です。初任科生たちは消防基本六法を片手に、慣れない法律用語に苦戦しながらも授業に懸命に臨みます。



【講師】 酒井 良憲 教務課主査
(初任科第89期主担当)

座学の中に経験を盛り込む

うちの教官達は担当教科目の実施運営を行ったり、実技訓練を担当したり、基礎教育・実務教育では担当科目の講義も行うのです。(大したものだ…)



今回、「消防法」の座学を担当することになり、消防法の第1条から勉強し直しました。

座学の中では、初任科生たちの集中力が切れてきた頃に、本題から逸れた話も少し織り込みます。

例えば「災害現場での経験談」について話してみます。

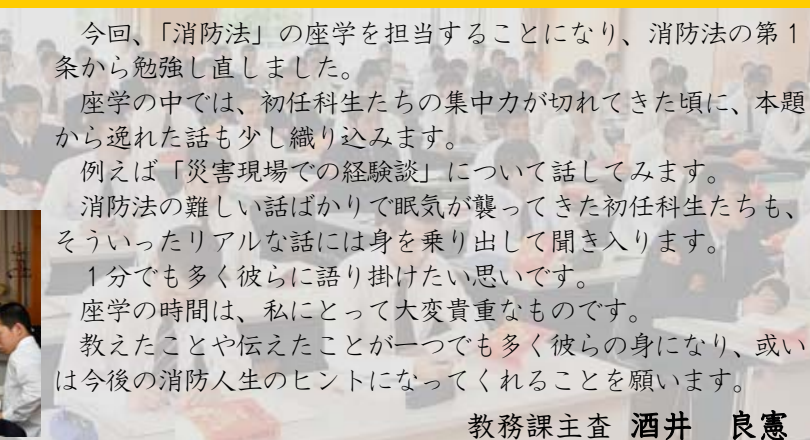
消防法の難しい話ばかりで眠気が襲ってきた初任科生たちも、そういったリアルな話には身を乗り出して聞き入ります。

1分でも多く彼らに語り掛けたいと思います。

座学の時間は、私にとって大変貴重なものです。

教えたことや伝えたことが一つでも多く彼らの身になり、或いは今後の消防人生のヒントになってくれることを願います。

教務課主査 酒井 良憲



4月19日(木) 座学、実科訓練を無事終了した初任科生たち・・・



【今日のメニュー】

ご飯、鯖の味噌煮、
付合せ、すまし汁、
大根のそぼろあんかけ、
あずき白玉

計 1,086kcal 也



「夕食」

17:20～17:50



ご飯と
汁物は
おかわり
自由



「校内清掃」 17:50～ 「課外活動」 18:10～



清掃は寮室単位で当番制。
1週間で分担する清掃区域
を交代していきます。



洗濯、洗濯・・・



北寮の寮直室。
僕ら本日の寮直です。

4月19日(木) 18:30

木曜日

非常呼集、非常呼集

地震発生！

初任科学生は 直ちに
屋内訓練場へ参集すること！

服装 白ヘルメット、救助服、…

携行品 非常持出品一式

なお、事故防止のため、ヘッドライトを
白ヘルメットに装着し、ライトを点灯して
行動すること！

エツ!



急げ!



急げ!!



実施の目的

- ① 消防勤務による迅速出動の体験
- ② 非常食、非常用飲料水の携行状況の確認

「体力測定」最終日の課外時間に実施。
(翌日20日の退寮日は座学のみ)
入浴時間を考慮し、20時には完全解散。

いざ、屋内訓練場へ!

訓練場への移動の途中でも、
服装、装備等への教官の厳しいチェックが入る…



訓練場に集合

時間の掛かりすぎ⇒嚴重注意



非常持出し品 (非常食、水、ラジオ等) を一人ずつチェック!

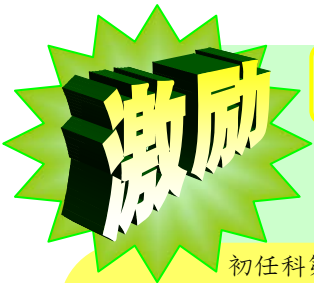


最後は体力練成!



初任科生の皆さん、教官の皆さん
本当にお疲れ様でした…

腕立て伏せ、かがみ跳躍、腹筋 各100回程度 で解散!



静岡市消防局 村田 吉伸 消防局長 来校！

4月18日(水)、静岡市消防局の村田消防局長が初任科「倫理」の講師(県消防長会会長)としての来校に合わせて、所属の初任科生たちを激励してくれました。

初任科第89期では最多の27名(うち女性2名)が入校している静岡市消防局。村田消防局長が担当した3時限目の講義が終わって皆で昼食となりましたが、さすがに大人数のため、講義で使用した北寮大教室でレイアウトを変更しての食事会となりました。



初任科生たちにとって4月4日(入校式)以来の消防局長の顔、姿、声。限られた時間の中ではありましたが、所属長から温かな激励の言葉をいただきました。

村田消防局長には、昼食後、午後の実科訓練として、クラス別に実施する機器取扱訓練、訓練礼式、体力測定に励む初任科生たちの様子を熱心に御覧いただきました。



村田局長の目線を通して初任科生たちの訓練の様子を御紹介しようと思いましたが、村田局長が全て後姿になってしまいました。大変失礼しました。



手前は制服姿で訓練礼式を行っているクラス。遠方はTシャツ、短パン姿で体力測定を実施しているクラス。その対比が面白い。



御多忙のところどうもありがとうございました。初任科生たちにとって大きな励みになったことと思います。



One Chot

ワンチョット(チョイネタ)コーナー

学校の風景①

学校の風景②

初任科生の中から選んだ体育、文化などの委員の一つ、美化委員が中心になって校内美化運動として実施しているのがグラウンドの整備、草取りです。日が暮れたグラウンドに照明を入れ、初任科生たちが広がりながら草取りをしている光景は、牧場で放牧されている牛たち(愛らしい意に見えるから不思議です。



グラウンドを使つての午後の実科訓練に備え、昨夜の雨で水溜りができた箇所の排水を手作業で行っている教官たち。消防学校らしい景色だな、教官たちは偉いもんだ、と思わず撮影してしまったものです。



総代選挙

入校して約1か月、大型連休前の4月最後の訓練日である27日(金)に初任科第89期の総代・副総代を初任科生の投票で選出した。

総代は、第89期全体から1名、副総代は各クラスから1名ずつを選出。

入校日の4月4日から27日までの間は、初任科生各個人の適性等を把握するための選出準備期間とし、その日の日直の代表者が総代・副総代の職務を遂行してきた。

さて、選挙の結果は次のとおり。

区分	組	氏名	所属
総代	1	樋渡 勝志	富士
副総代	1	掛井 亮一郎	浜松
副総代	2	羽田野 龍一	静岡
副総代	3	馬塚 貴之	磐田

選挙の結果、総代、副総代の所属が見事にばらけた。これも珍しいと言えるだろう。

ところで、今回の選挙は記名式の投票で行われている。かつ、投票理由も付記することになっており、その内容を見ると、投票のポイントは次の3点到整理される。

- ① まどめる力、リーダーシップ、責任感
- ② 積極性(発言、声出し、先頭に立つ)
- ③ 人柄の良さ、優しさ、明るさ、思いやり

このほか、ユニークな記載に次のようなものがあった。

- カリスマ性がある
- 人として尊敬できる
- 模範とすべき学生である
- 声がいい
- この人にならついていきたい
- クラス全員の名前を覚えている 等

いずれにせよ、自分たちで選んだことの責任の重さはしっかり自覚してほしい。

新しい総代・副総代、大変だが頑張れ!

体力測定

初任科生の体力の水準と特性を把握するため、「体育」の科目の中で、体力測定を行っている。

第1回は入校してまもなくの時期に、第2回は6か月の教育訓練の終盤といえる時期に実施、すなわち、第1回は入校時点の体力を、第2回は訓練を積み重ねた時点での体力を測定するというものである。

さて、初任科第89期の第1回体力測定は、4月17～19日に第1部、23日～25日に第2部をクラス毎に行った。

実施種目は次のとおり。

- 【第1部】 100m走、立三段跳び、274.3m走、懸垂、1500m走
 【第2部】 反復横跳び、握力、立位体前屈、上体起こし、4km走

種目別に、記録的に全体のトップで、かつ10点満点を取った者は、100m走(12秒41)及び274.3m走(43秒82)で芦澤冬威(富士)、懸垂(28回)で伊原隆介(駿東)であった。



興津川右岸サイクルロードでの4km走

女子では、飯泉亜美紗(駿東)が1500m走(5分24秒)及び4km走(15分18秒)の2種目で10点満点の記録を出している。

別の意味で注目すべきは、立位体前屈でマイナスの記録を出した者が4名(全員男子)、懸垂で0回が8名(全員女子)いたことであろうか。

第2回(8月実施)で訓練成果を見せてみる!



第1回野外訓練の下見

5月10日に実施予定の第1回野外訓練のコースの下見を学校長として4月20日に行いました。初任科生たちが目指す浜石岳の頂上からは富士山がよく見えました(タイトルバックの富士山も浜石野外センターからの撮影です)。一般の方も何組かいらっしゃいましたが、初任科生にとっては“楽しいイキング”にはならないでしょう。



次回特集します 乞うご期待!!